

公益社団法人 日本地下水学会
2011年度 第7回 理事会 議事録

1. 開催日時：2011年10月30日 13:15～16:50

2. 開催場所： 熊本大学東京オフィス
東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・リエゾンセンター 5階501

3. 理事総数：14人

4. 出席理事数：13人 ○：出席，×：欠席

理事	今村 聡	○	理事	蛭原 雅之	○
理事	川端 純一	○	理事	高坂 信章	○
理事	嶋田 純	○	理事	斎藤 庸	○
理事	谷口 真人	×	理事	杉田 文	○
理事	中島 誠	○	理事	徳永 朋祥	○
理事	平山 利晶	○	理事	中屋 眞司	○
理事	丸井 敦尚	○	理事	松山 秀明	○

5. 出席監事

監事	前川統一郎	○	監事	村田 正敏	○	監事	平山 光信	○
----	-------	---	----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：代表理事（会長） 嶋田 純

定刻に、代表理事 嶋田 純 は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時15分本理事会の開会を宣した。

7. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

8. 議事録作成者：理事 中島 誠

9. 理事会資料

理事会資料－1：公益社団法人日本地下水学会 2011年度第7回理事会 議事次第

理事会資料－2：公益社団法人日本地下水学会 2011年度第6回理事会 議事録（案）

理事会資料－3：行事委員会 審議・報告事項

理事会資料－4－1：企画委員会 審議・報告事項

理事会資料－4－2：会告 地下水シミュレーション（実習）講習会

理事会資料－5：信州大学 「NEDO 次世代型ヒートポンプシステム研究開発」実証試験プラント竣工記念特別講演会 案内

理事会資料－6：三井物産環境基金 2011年度東日本大震災復興助成（第3回締切）研究助成審査結果連絡

理事会資料－ 7：日本地熱学会平成 23 年学術講演会への協賛依頼（お願い）
理事会資料－ 8：公益財団法人とうきゅう環境財団助成研究公募結果
理事会資料－ 9：平成 24 年度環境研究総合推進費新規課題の募集について（環境省）
理事会資料－ 10：入会希望者の承認について
理事会資料－ 11－ 1：一般社団法人地球惑星科学連合関係資料
理事会資料－ 11－ 2：一般社団法人地球惑星科学連合 定款一部変更について（ご提案）
理事会資料－ 12：IAH-JAPAN 関係資料（理事会再確認事項）
理事会資料－ 13：編集委員会 審議・報告事項
理事会資料－ 14：「地下水用語集」 広告原稿
理事会資料－ 15－ 1：男女共同参画委員会 審議・報告事項
理事会資料－ 15－ 2：男女共同参画学協会連絡会 資料
理事会資料－ 16：広報・IT 委員会関連の報告・審議事項
理事会資料－ 17：会計委員会資料
理事会資料－ 18：市民コミュニケーション委員会資料

10. 議事の経過の要領およびその結果

【審議事項】

第 1 号議案：入会の承認方法について

- ・入会希望者があった場合、細則による入会条件への適合性を事務局が調べ、総務委員長が入会可否を判断し、その結果を理事会に報告することとした。

第 2 号議案：既発行資料の扱いについて

- ・既発行資料（会誌、講演集等）の保管分が事務局スペースを圧迫していることから、会誌は 3 年間各 30 部残すこととし、講演集等の保管部数は事務局長に一任することとした。
- ・既発行資料の販売価格は、過去の経緯等を踏まえ、事務局長に一任することとした。
- ・シンポジウムの要旨集等で学術的に価値のあるものについて、国立国会図書館に寄贈することを検討することとし、対応を事務局長に一任することとした。

第 3 号議案：本学会からの委嘱状について

- ・委嘱状には通し番号を付けることとし、その形式を決定した。

第 4 号議案：2012 年度地球惑星科学連合大会におけるセッション共催について

- ・2012 年度地球惑星科学連合大会において、水文・水資源学会、日本地球化学会、日本水文科学会との 4 学会連立主催の「水環境・水循環」セッションを継続して共催すること、および新規に「流域の水文地質と物質循環」セッションを共催することが承認された。

第 5 号議案：一般社団法人地球惑星科学連合の定款一部変更について

- ・一般社団法人地球惑星科学連合からの定款の一部変更の提案について、団体会員として承認することとした。

第 6 号議案：IAH-JAPAN からの確認事項について

- ・IAH-JAPAN 事務局を本学会傘下におく場合の条件について、IAH-JAPAN から正式に依頼が来ている段階ではないことから、正式に依頼が来た段階で審議することとした。
- ・IAH-JAPAN 会員には本学会会員であることを求めるといふ本学会が提示した条件について、IAH-JAPAN 会員は本学会会員でなければならないという条件は外してもよいと回答することとし

た。

第7号議案：書籍「地下水用語集」の執筆者への献本について

- ・書籍「地下水用語集」の執筆者（献本辞退者を除く）に対して執筆料の代わりに当該書籍を1部ずつ贈呈することとし、その購入費用から印税先渡し分（収入）を引いた差額を学会で負担することについて、今後の前例とはしないという条件付で承認された。

第8号議案：講習会・セミナーの参加費の設定方法について

- ・特別会員、講演団体の会員の参加費について、基本となる扱い方を内規等で定めるべきであるという提案が承認され、企画委員会が原案を作成することを決定した。

第9号議案：「非常用水源としての地下水利用の在り方」シンポジウム（仮称）の開催について

- ・「非常用水源としての地下水利用の在り方」シンポジウム（仮称）を2012年春季講演会（2012年5月26日（土）、東京大学柏の葉キャンパス）に合わせて開催するかたちで検討することが承認された。

第10号議案：会誌の Journal Archive に関して

- ・Journal Archive への採用が決定し、会誌1号1巻から50巻4号まで（水文地質研究会会誌も含む）がJSTにより電子化されることになったためにJSTと交わす必要のある覚書について、覚書の書面が原案どおり承認された。
- ・Journal Archive 掲載に関わる校正作業のために雇用している学生アルバイトの費用について、Journal Archive 採用により削減できた電子化予算内で供出することが承認された。
- ・著作権譲渡がされる前に掲載された論文について、著作権譲渡を著者に依頼する告知文の内容が、原案どおり承認された。
- ・今後掲載する論文等に関して、著者に提出をしてもらうことにする著作権譲渡同意書の様式が原案どおり承認された。

第11号議案：短報の位置付けの変更について

- ・短報の位置付けの変更について、会誌11月号に掲載予定の会告（案）の一部の表現の再考という条件付で承認された。

第12号議案：会誌の印刷部数等に関して

- ・会誌印刷時の余部を今後は毎号200冊から20部に減らすことが承認された。

第13号議案：学会所有の名簿等の個人情報データの使用許諾について

- ・男女共同参画検討のための女性会員アンケートのための個人情報データ使用について、個人情報保護法を遵守したかたちでの使用が承認され、アンケートへの協力依頼を事前にメールで送信して各会員の承諾を得た上でアンケートを送信するなどの方法を検討するよう男女共同参画委員会に依頼した。

第14号議案：男女共同参画委員会の委員会費用の予算化について

- ・平成23年度予算計画に組み込まれていない男女共同参画委員会の平成23年度委員会費用について、10万円を予算計上することが承認された。

第15号議案：英文ホームページについて

- ・英文化する項目は、①学会紹介、②入会案内、③投稿規程、④会長メッセージとすることが承認された。

第16号議案：会費長期滞納者の「会員資格の喪失」処置について

- ・会費4年分滞納者（8名）および会費3年分滞納者（8名）の除籍（会員資格喪失）が承認された。

第17号議案：入会希望者の承認について

- ・入会希望者の入会を承認した。

【その他報告事項等】

1. 前回議事録を確認した。
2. 事務局：
 - ・受託事業として産業技術総合研究所より9月22日（木）に下記2件の業務が正式に発注され、2月中の納品に向けて対応中であることが報告された。
 - ・「沿岸域塩淡水境界・断層評価技術高度化開発」研究評価（契約金額994,980円）
 - ・「海域地質環境調査技術高度化開発」研究評価（契約金額994,980円）
 - ・事務局経費の計上方法等について会計委員長が検討し、受託事業の会計上の取扱いについて認定期間に問い合わせてみる予定との報告があった。
3. 行事：
 - ・2011年秋季講演会（広島）の開催報告があった。
 - 講演件数：67件（内、若手32件）、講演会参加者数：154名（内、学生24名）、懇親会参加者数：95名、見学会参加者数：24名、展示：5社、講演集広告：1社
 - ・シンポジウム「瀬戸内の地下水」の開催報告があった。
 - ・2012年春季講演会（2012年5月26日（土）、東京大学柏の葉キャンパス）のプログラム案（仮）および大会までのスケジュール（2012年3月9日：発表申込み〆切、2012年4月20日：講演集原稿〆切）が報告された。
 - ・2012年臭気講演会を2012年9月27日（木）～29日（土）に鹿児島大学で開催すること、初井会員に実行委員長をお願いすることが報告された。
4. 企画：
 - ・書籍「地下水用語集」が完成し、2011年11月9日付けで発行となること、理工図書（株）との出版契約を近々に締結する予定であることが報告された。
 - ・「地下水シミュレーション（実習）講習会」を2011年12月16日（金）・17日（土）に（財）機械産業記念事業財団（テピア）地下1階A会議室（東京都港区北青山）にて開催することが報告され、同講習会の実行委員会を設置したことおよび収支計画が報告された。
 - ・「非常用水源としての地下水利用の在り方」シンポジウム（仮称）の内容について、検討状況が報告された。
 - ・2011年度事業計画にあるシンポジウム「これからの地下水資源の利用と管理」について、開催を次年度以降に延期する方向で検討中であることが報告された。
5. 編集：
 - ・会誌第53巻第4号の編集状況が報告された。
 - 論文1、短報2、誌面講座2、訪問記1で刊行の予定
 - ・論文等の査読進捗状況（2011年10月27日）が報告された。
 - ・会誌54巻1号を震災に関する小特集とする予定であることが報告された。
 - ・投稿規定等について、修正を含めて検討中であることが報告された。
6. 市民コミュニケーション：
 - ・10月2日（日）の「都内湧水めぐり」の開催報告があった（参加者：41名）。

- ・「地下水の科学」をベースとした出張用のパワーポイントについて、コンテンツの本格作成に先立ち、地方自治体の市民講座等のニーズを探ることを開始することが報告された。
- ・会員の中の自治体関係者へのアンケート送付については、個人情報保護法を遵守したかたちで行う必要があることから、その実施方法等について次回理事会の審議事項とすることとした。
- ・松戸市のホームページに放射性物質の地下水への影響について FAQ が出ていることが紹介され、本学会で準備中の FAQ の作成を急いで欲しいとの要望があった。

7. 男女共同参画

- ・男女共同参画委員会の委員構成および委員に委嘱状を発送することが報告された。
- ・本学会代表として地球惑星科学連合の男女共同企画委員会委員となっている藪崎会員にも委員に加わってもらうよう検討するとともに、更に委員を増やすことを検討することとなった。
- ・現在、名簿上女性会員が 33 名で全体の 4% でしかなく、かなり低い割合であること、さらに最近の 5、6 年は微減状態であること、および女性および若手に学会へ参加したいと思ってもらうためにはそうすべきかをイコールパートナーシップの考えに基づき検討することが報告された、
- ・男女共同参画委員会の活動方法として、主にメール審議で検討を進め、会合は年 1 回程度とすることが報告された。

8. 広報・IT :

- ・平成 23 年度第 2 回広報・IT 委員会を 10 月 22 日に開催し、主に英語版ホームページの運用について議論したことが報告された。
- ・広報・IT 委員会の委員構成が報告された。
- ・役員構成を学会ホームページに掲示したことおよびその掲示内容が報告された。
- ・Web 会議用の専用インターネット回線確保のため、UQWimax に加入したことが報告された。

9. 会計 :

- ・会費納入状況（平成 23 年 10 月 28 日時点）が報告され、7 月末段階で未納者に対して督促状を送付したことが報告された（入金期限：平成 23 年 8 月 15 日）。
- ・受託事業の公益申請上の取り扱いについて、公益認定委員会に相談する予定であることが報告された。

10. 総務 :

- ・「信州大学 実証試験プラント竣工記念特別講演会」の案内が届いたことが紹介された。
- ・本学会が応募した「三井物産環境基金 2011 年度東日本大震災復興助成（第 3 回締切）」の審査結果（不採択）が報告された。
- ・日本地熱学会平成 23 年度学術講演会の協賛について報告があった。
- ・公益社団法人とうきゅう環境財団の「多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究・活動助成の募集」の案内が届いたことが紹介された。
- ・環境省の「平成 24 年度 環境研究総合推進費における新規課題の募集について（お知らせ）」の案内が届いたことが紹介された。

- ・文部科学大臣表彰について、本年度の推薦は見送ったとの報告があった。来年度以降の推薦にあたり、事前の資料準備に十分な期間を取る必要があるとの指摘があった。
- ・日本学術会議の提言「新しい高校地理・歴史教育の創造」の紹介があった。
- ・変更登記申請の提出について報告があった。

1 1. 今後の予定

2011年度第8回理事会

日時：2011年12月17日 13:30～

場所：熊本大学東京オフィス キャンパスリエゾンセンター4階ラウンジ

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は17時00分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し代表理事及び監事が次に記名押印する。

2011年11月3日

公益社団法人日本地下水学会 理事会

代表理事：嶋田 純



監 事：前川 統一郎



監 事：村田 正敏



監 事：平山 光信

